

## 多彩な作品展示、和やかな雰囲気演技そしてファッションショウも

### 健生会友の会第13回サークル発表交流会

2月15日～17日の3日間、大和高田市さざんかホールで「健生会友の会第13回サークル発表交流会」が開かれました。

友の会には27のサークルがあり、多くの会員が参加していますが、これらのサークルが展示部門と、舞台部門とに分かれ、この交流会で日頃の研鑽・努力の成果を披露しました。

2階の展示室ではカメラ、書道、花の水彩画、着物のリフォーム、新聞ちぎり絵、小物づくりなどのサークルがそれぞれの作品を展示し、3階の小ホールでは大正琴、新舞踊、3B体操、フラダンス、懐メロ、

カラオケの各サークルが、歌や踊り、演技を披露し、盛んな拍手を浴びていました。リフォームのショウも繰り広げられました。



### 山歩きクラブ会員の多彩で多様な作品群

山歩きクラブも展示室の一角で、会員の様々な作品を展示し、例会登山の写真や記録、ビデオテープなどを公開しました。

出展された作品は写真、絵画、切り絵、押し絵、俳句、絵手紙、各種手芸品、山野草の盆栽や鉢植えなど広いジャンルに及び、テーマも登山に限定されず観ていて楽しいものでした。

私には、山歩きクラブのメンバーたちが、それぞれの趣味、特技、余技を活かして、生活と山歩きを大いに楽しんでいるように感じられて、大変うらやましく思いました。

### 生活と山歩きの多様な楽しみ方

「やったー」と叫びたい絶景や、植物や動物との思いがけない出会いなど、山を登った者のみが享受できる感動があります。山や生活での感動をどう表現するか、

制作者のご苦勞を感じさせる作品

がいくつもありました。山の花に心惹かれる人、野鳥との出会いを楽しみにしているメンバーなど、山歩きにも様々な楽しみ方があることを改めて教えてもらった発表会でした。



## ニガイチゴ (苦苺)

バラ科キイチゴ属

写真 故澤木仁さん

花期は4月

林縁部や空き地、荒れ地に1~2メートルの茎を立ち上げて、よく枝分かれし、時として藪を作ります。

実は赤くて甘いのですが、核に苦みがあるのでこの名になりました。



## ヤブヘビイチゴ (藪蛇苺)

バラ科キジムシロ属

写真は故澤木仁さん

花期は4月~6月

林道や登山道の路傍に咲いています。

真っ赤な実は小さい粒粒をたくさんつけて、よく目立ちます。私が子供のころ、「赤い部分が毒だから食べてはいけない」と言われ、赤い部分を取り除いて食べたことがありますが、無味で美味しくありませんでした。「食糧難時代」でなければ、食べてはいなかったでしょうね。

「蛇苺」は中国での名で、蛇が食べるからとか、この実を食べにくる小動物を狙う蛇が多いからとか言われているそうです。

赤い色からの連想ではないでしょうか。